

「こうずら ほうずら」は市民のみなさんでつくるページです。
 市政や広報に対するご意見や身近な話題など、どんどんお寄せください。
 宛先 ● 〒394-8510 岡谷市役所(住所不要) 広報情報課広報広聴(内線1366)

こね

7月の てがみから

▼は広報広聴担当より

わが家につばめが巣を作り、7月4日に無事5羽が巣立ちました。にぎやかな毎日だったので、ちよつとさみしくなってしまうました。
 いいことあるといいな。

(赤羽3) M・Mさん

▼市庁舎にもつばめがたくさん巣を作っています。こちらにも、近々巣立っていくことでしょう。来年も巣作りになって、いいことも運んで来てくれたらいいですね。

1歳2ヶ月の娘は最近、みんなにお箸をくばったり、テーブルがぬれるとタオルでふいたり、ごはんをよそおうとしたり。小さなマ

マみたいでカワイイです。

(加茂町2) R・Kさん

▼大好きなお母さんのまねをしているんですね。成長を感じます。元気に大きくなあれ！

先日、やまびこ公園へ行ってきました。県外車もチラホラ見えました。幼い子どもが喜々として水遊びをしていました。双子らしき子どもさんもいて、とっても可愛らしかったです。

(川岸上2) K・Yさん

▼やまびこ公園はこの季節、とくに休日は、大変多くのみなさんでにぎわっています。眺望が良いですし、いろいろな遊具もそろっています。避暑に、レジャーに、スポーツに、みなさんご利用ください。

市民レポーターだより

小平陽子さんの

地域と学校の

連携レポート

「じもまつり」

価値観の多様化や情報化、また核家族の増加により、子育てや学校を取り巻く環境は大きく変化しています。

子どもたちは、多くの人々とふれあうことで多様な生き方を学んでいきます。
 このコーナーでも何度か取り上げている地域の力。今、その発想や教育力を学校に取り入れることで、子どもたちの成長をより良くしようという活動が盛んになっています。

この夏、小井川小学校での試みで、学区内の地域について知って楽しもうという、PTA主催の「じもまつり」が行われました。学区内の企業として、ものづくり体験を提供した、株式会社エプテックの藤森さんにお話をうかがいました。



株式会社エプテック 藤森さん

藤森さんは、日ごろからテクノプラザおかや主催の「ものづくり体験隊」や、ご自身でもPTAとして学校でのチャレンジ教室など、仕事と教育の橋渡しをされています。

講座では金属コマ作り、チタンの電解発色など、メッキの分野で子どもたちが興味を持つ

実験を担当。目の前で起こる化学変化に、子どもたちは思った以上に目を輝かせて、藤森さんが予想しなかった変化を子どもたちの目線から発見でき、この体験を元に自由研究のテーマにする子も。

藤森さんがご自身の体験や子育ての経験を通して思うのは、ものづくりの街「岡谷」の良さを知って育つことが、たとえこの地を離れ遠くへ勉強に行つたとしても、将来戻ってきて、故郷岡谷の力となつてくれることにつながるのでは…とのこと。

地域と学校の連携はほかに、読み聞かせ、クラブ活動支援、登下校の見守り、放課後の居場所づくりサークルなど、さまざまな形で行われています。

教育は、言うまでもなく、単に学校だけで行われるものではありません。

学校・家庭・地域社会の連携で教育がバランスよく行われるなか、親子の触れ合い、友だちとの遊び、地域の人々との交流などの、さまざまな岡谷での楽しい経験が、子どもたちの「生きる力」を育てていくことでしょう。

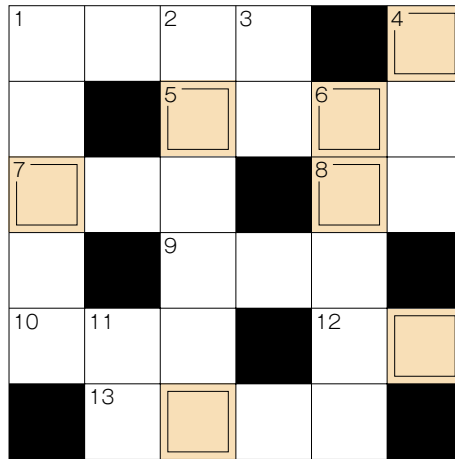
広報クイズ No.284

クロスワードパズル

問題

二重枠の文字を並べ替えると岡谷に関する言葉ができます。それを教えてください。

正解者の中から抽選で5名にロマネット入浴券をお送りします。



◆ヨコのカギ

- 1 今年は総踊りもあります。
MINAKOI○○○○
- 5 燻^{いぶ}して作ります
- 7 一度にいくつものことをやること。
昔は○○○族とも
- 8 さて次の総理の○○には誰が座るのでしょうか
- 9 眼前の諏訪湖と八ヶ岳は校章にも。
岡谷○○○中学校
- 10 血筋、血統、家柄。
競走馬にもよく使われます
- 12 今年は6月21日でした
- 13 秋には市内でも至る所で大きな実をつけます

◆タテのカギ

- 1 3人の大臣を輩出した旧○○○○○
- 2 横河川はみごとです
- 3 良い人と悪い人がいます
- 4 声
- 6 ウェスタン。昔はこの映画が多かったですね
- 11 ○○屋、○○村、いずれも長地です

●応募方法…はがきに答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、ひと言(市政や広報に対するご意見や身近な話題など)をそえて「〒394-8510 岡谷市役所(住所不要)広報クイズ係」までお送りください。8月10日必着。(ひと言は「こえ」に掲載させていただく場合があります)

●前回(7月号)の答えと当選者 「きつねまつり(きつね祭り)」
正解数41通(応募総数41通)の中から抽選でS・Aさん(堀ノ内1)、R・Kさん(加茂町2)、T・Tさん(湖畔1)、Y・Kさん(川岸東3)、H・Tさん(神明町1)にロマネット入浴券をお送りします。



世界 de Go! 岡谷市国際交流協会だより

www.oiea.jp Tel.24-3226



日本語

- ★ ニュースレター
「こんにちは おかや」夏号
主な内容：市からのお知らせ
● 定額給付金と子育て応援特別手当の申請はお済みですか?
● ゴミの捨て方
- ★ OIEA English Camp
イングリッシュ キャンプ
● 2日間を英語で楽しもう!
● 9月26日(土)・27日(日)
● 国立信州高遠少年自然の家
● 事前に申込みが必要
- ★ 日本語教室
● 受講無料
● 8月下旬からスタート
● 詳しくは直接お問い合わせください

中国

- ★ 快报「你好，冈谷」
夏季发行号的主要内容：
市政府的通知
● 定額給付金和儿童特别支援手当已经申请了吗?
● 垃圾的处理方法
- ★ OIEA English Camp
● 为期2天的快乐英语野营!
● 9月26(星期六) 27(星期天)
● 地点：国立信州高遠少年自然の家
● 请提前和国际交流协会申请
- ★ 日语教室
● 免费
● 8月下旬开始
● 详情请直接咨询国际交流协会

ENGLISH

- ★ Hello Okaya Newsletter – Summer Edition - is out!
Get informative features on:
● Cash Handout and Special Allowance for Families with children
● Garbage Disposal
- ★ OIEA English Camp
● Try an overnight all-English camp experience!
● September 26 (Sat) to 27(Sun)
● Takato Town
● Reservation is required
- ★ Free Japanese Language Course for Foreigners
● From late August to November
● Contact OIEA to register

PORTUGUES

- ★ ALO OKAYA – Edição de verão
Conteúdo principais :
Informação municipal
● Já termonou o requerimento do dinheiro do subsídio de esmola e o auxílio especial de assistência à criança ?
● Como jogar os lixos ?
- ★ ENGLISH CAMP de OIEA
● Vamos divertir-se ENGLISH CAMP e falar só inglês durate 2 dias.
● Dia 26, setembro e dia 27 (Sábado e domingo)
● Cidade TAKATO
● Precisa-se de requerimento
- ★ Aula de japonês
● Curso gratuito
● Começará desde fim de agosto.
● Pergunte detalhadamente a OIEA

今月から外国人のみなさんに向けたお知らせコーナーになりました

◎特集2

男女共同参画をわかりやすく

マンガ「わたしらしくあなたらしく」を

市内小学生に発信！

「こうあるべき」と理解はできても、実際にその意識を根づかせていくのは、案外むずかしいこと。男女共同参画についても、意識の定着が課題のひとつに挙げられています。

子どもたちに自然なかたちで男女共同参画を根づかせたいと作られた「わたしらしくあなたらしく」は、一昨年「ともに創る明日の岡谷 学んで提案講座」に参加した市民の提案から生まれました。

冊子はA5版20ページ。「働くってどういうこと?」「家族にもルールが必要かな?」「近所づきあいなぜ大事?」など、8つのテーマに分けて編集。テクノプラザおかやで行われている「ものづくり探検隊」や豪雨災害の体験など、内容には、岡谷らしさが取り入れられています。

同冊子は、市内の小学5、6年生に配布しました。授業や学級の時間で活用している学校もあり、子どもたちの男女共同参画の意識づくりに役立っています。

男女共同参画社会とは、「男女が対等な立場で社会の構成員となり、家庭、地域、社会におけるさまざまな活動に自ら参画し、社会のおよび文化的な利益を対等に受けるとともに、協力して責任を担う社会」のこと。誰もが個性と能力を發揮し、安心していきいきと心豊かな生活が送れるよう、岡谷市においてもさまざまな取り組みが進められています。



提案者も所属している「パートナーシップおかや市民の会」では、作成委員の1人、神明小の飯森校長先生を訪ね、冊子の利用についてお聞きました。

飯森校長

『マンガなので、子どもたちが受け入れやすいですね。押しつけでなく、1人ひとりにとって幸せに暮らすための指針になると思います。「ものづくり体験」や「租税の授業」で振り返ったり、参観日には保護者が、この冊子を題材に家庭での様子を話し合うなど、いろいろな場面で活用できるのではと考えています』

◎「わたしらしくあなたらしく」をもとに授業が行われた上の原小の6年生は…

「働くことについて」に興味を持ちました。

働くことを簡単に考えていたけれど、お金をもらうことや税金や保険など、実際には大変なんだと思いました。職業についても、みんなと話しました。わたしは、大きくなったら美容師になりたいです。髪を切つて、みんなをおしゃれにしてあげたいからです。

一番印象に残ったのは「命って誰のもの？」です。

わたしには五歳の妹と二歳の弟がいます。これを読んで、弟が生まれたばかりの時を思い出しました。妹は最近、保育園でいろんな言葉を覚えて、家でびっくりするようなことをいったりします。そんな一人と自分、そして両親とのつながりをとても大切だと感じました。

「家族ってなに？」と「命って誰のもの？」に共感しました。

お母さんのお母さんのお母さん…と命がつながっていて、そのだけか一人いなくても自分はいないので、家族のつながりってすごいと思いました。今まではあまり考えたことがなかったけれど、家族を大切にしたいです。協力し合い、支え合って、家族になるというのがわかったので、思いやりをもって仲良くしたいと思います。

「家庭にもルールが必要かな？」で考えました。

学校だったら「廊下を走らない」だとか、みんなを守るルールがあります。家でもルールを決めて家族が協力すれば、もっと気持ちよく過ごせるのかなと思います。わたしは、料理の手伝いをするね、と家族と話しました。「命って誰のもの？」についての感想は、自分というのとはたつた一人のように思うけれど、誰の

命も何十、何百の命につながっている。命を大切にとみんなが考えて、殺人などの事件が世界中からなくなるのいいなと思いました。

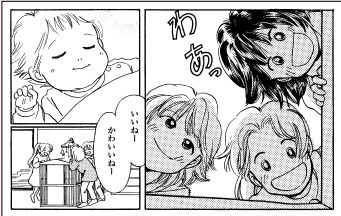
◎ほかの小学校から寄せられた感想も紹介します(抜粋)。

「男のやること、女のやること」と決めずに、自分の好きなことをやってもいいんだと思いました。それがれができることを協力してやればいいと思いました。

女の子が野球やサッカーをするのはへんだと思っていましたが、ぜんぜんおかしくないんだとわかりました。

「働く」という字は、人が動くと書きます。男とも、女とも書いてありません。だから仕事は、男女平等がいいと思います。

ぼくのお母さんはマンガと同じように働いています。お父さんは夕食やお風呂の準備をします。ぼくは弟の面倒をみます。みんな大変なので、できることは自分でやるようにしたり、いわれなくても手伝いをするようにがんばります。



「命って誰のもの？」より



マンガ冊子を教材に活用した授業風景(上の原小)



市では現在、平成22年度スタートの「男女共同参画おかやプランIV」を策定しています。どんな事業にどう取り組んで行くのかは、市民のみなさんの意見やアイデアを参考に計画中で、6月には「男女共同参画フォーラム」も実施しました。

男女共同参画社会を正しい理解のもとで実現していくためには、学校や家庭においても、お互いを尊重し協力し、のびのびと個性や能力を発揮しあうことが大切ではないでしょうか。

共働き世帯の増加などにより、子どもとゆつくり話す時間が少なくなりますが、この冊子をきっかけに、子どもたちが男女共同参画への関心を深め、家族との会話を通して、心豊かに成長していってくれたら、と願っています。

マンガ冊子は岡谷市のホームページよりダウンロードできます

男女共同参画に関する問合せ●

企画課(内線15208)